

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	術前化学療法後局所進行直腸癌に対する高解像度MRIの果たす役割		
2. 対象患者	当科で多剤併用術前化学療法をした他臓器浸潤が疑われた直腸癌患者さん		
3. 対象となる期間	2011年1月1日 ~ 2017年8月31日		
4. 実施診療科等	弘前大学消化器外科		
5. 研究責任者	氏名	三浦 卓也	所属 弘前大学消化器外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	治癒切除困難な局所進行直腸癌因子として、他臓器浸潤があります。そのような症例に対する手術単独治療では再発を多く認め、術前治療の導入により再発を軽減する試みがなされています。一方、術前化学療法後の臓器温存の適応については十分明らかにされておりません。		
8. 研究の目的	2011年から2017年までの当科で多剤併用術前化学療法をした他臓器浸潤が疑われた直腸癌患者さん35人の治療成績を分析し、臓器温存の適応についてMRI検査の役割を考察します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	診療録を利用し、手術理由などの病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、直腸癌の臨床病理所見、術式、合併症などの手術関連情報、臓器温存の有無、再発などの術後情報を利用します。		
10. 個人情報の保護	患者個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座 三浦卓也		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080